

横浜市感染症発生動向調査報告(令和8年1月)

委員会開催日(2026年1月22日)時点のデータになります。

《今月のトピックス》

- デング熱、マラリアなど、輸入感染症の報告がみられます。
- 感染性胃腸炎が例年よりも高い値で推移しています。
- インフルエンザの報告も続いています。
- 梅毒は幅広い年齢層で患者が発生し、妊婦の報告も複数みられます。

◇ 全数把握の対象 <2025年12月22日～2026年1月18日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	3件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
デング熱	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
マラリア	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	8件
レジオネラ症	6件	水痘(入院例に限る)	1件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	28件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1件	百日咳	34件

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳代～60歳代で、O血清群はO26が1件、O不明が2件です。すべて無症状病原体保有者で、いずれも感染経路等は不明です。
2. **E型肝炎**:50歳代の無症状病原体保有者で、感染経路等は不明です。
3. **デング熱**:10歳代～40歳代で、感染経路は蚊からの感染と推定されるのが1件、感染経路等不明の報告が2件です。
4. **マラリア**:50歳代で、病型は熱帯熱マラリアです。感染経路は蚊からの感染です。
5. **レジオネラ症**:50歳代～90歳代で、肺炎型が5件、ポンティアック熱型が1件です。感染経路等は水系感染と推定される報告が4件、感染経路等不明の報告が2件です。
6. **アメーバ赤痢**:50歳代で、病型は腸管アメーバ症です。感染経路は性的接触と推定されています。
7. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:80歳代で、感染経路は以前からの保菌、院内感染と推定されています。
8. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:10歳未満～90歳代で、血清型はA群が1件、B群が6件、G群が2件です。創傷感染と推定される報告が3件、その他と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が5件です。
9. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代～50歳代で、AIDSが1件、無症状病原体保有者1件です。感染経路は性的接触(同性間)が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
10. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:70歳代(ワクチン接種歴不明)で、感染経路はその他と推定されています。
11. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～90歳代(ワクチン接種歴3回1件、1回1件、無2件、不明4件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が2件、その他と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が5件です。
12. **水痘(入院例に限る)**:20歳代(ワクチン接種歴不明)で臨床診断例です。感染経路等は不明です。
13. **梅毒**:20歳代～90歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期4件、早期顕症梅毒Ⅱ期9件、晩期顕症梅毒1件、無症状病原体保有者が14件です。性的接触による感染と推定される報告が23件(異性間15件、同性間3件、詳細不明5件)、感染経路等不明の報告が5件です。
14. **百日咳**:10歳未満～60歳代(ワクチン接種歴4回4件、3回1件、無1件、不明28件)で、家族内感染と推定される報告が5件、周囲の流行と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が28件です。

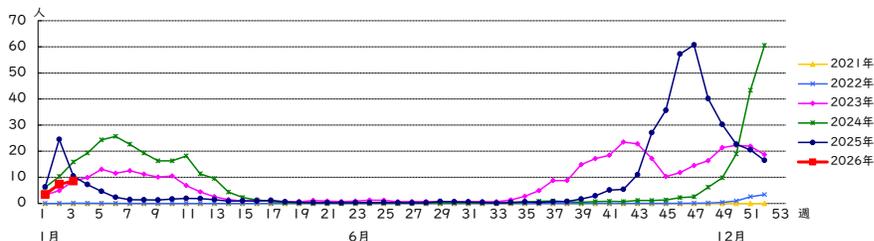
◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025年第52週	12月22日～12月28日
2026年第1週	12月29日～1月4日
第2週	1月5日～1月11日
第3週	1月12日～1月18日

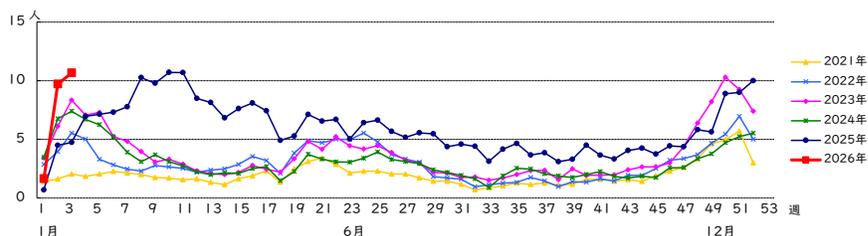
1 インフルエンザ

2025年第37週(9月8日～9月14日)以降増加が続き、第43週(10月20日～10月26日、定点あたり10.95)に流行注意報発令基準(10.00)を、第45週に35.63で、流行警報発令基準(30.00)を超えました。その後増加が続き、第47週に60.78でピークを迎えました。以降減少傾向が続き、2026年第3週は8.53です。



2 感染性胃腸炎

2025年第46週(11月10日～11月16日)以降増加傾向が続き、2026年第3週は10.67です。



3 性感染症(2025年12月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:18件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:22件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:17件	女性:0件	淋菌感染症	男性:10件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第52週	第1週	第2週	第3週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.00	0.00	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.00	0.00	0.75
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.25	0.25

5 基幹定点月報(2025年12月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	12件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025年第52週～2026年第3週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点72件、小児科定点1件、定点医療機関外1件でした。

2月3日現在、表に示した各種ウイルスの分離28株と遺伝子28件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025年第52週～2026年第3週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	発 熱
	インフルエンザウイルス AH3	12 1	4 -
インフルエンザウイルス A (亜型未同定)	- 1		
インフルエンザウイルス B (B/GTリア系統)	1 -		- 1
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1 5		- 2
ライノウイルス	- 8		- 3
RS ウイルス	- 3		- 1
ヒトメタニューモウイルス	- 1		- 1
アデノウイルス 2型	1 -		- 1
合 計	15 19	4 -	9 9

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

2025年第52週～2026年第3週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症6件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症10件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症1件でした。

基幹定点からの検査依頼はサルモネラ症1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症4件、レプトスピラ症3件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎4件、「ARI定点」から2件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025年第52週～2026年第3週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	6	O157:H7	VT1 VT2 (1)
			O157:H-	VT1 VT2 (1)
			O26:H11	VT1 (1)
			O103:H+	VT1 (1)
			OUT:H+	VT1 VT2 (1)
			OUT:H+	VT2 (1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10	A群溶血性レンサ球菌	T型別不能 (2)
		B群溶血性レンサ球菌	I a型 (1)	
		B群溶血性レンサ球菌	V型 (3)	
		B群溶血性レンサ球菌	型別不能 (2)	
		G群溶血性レンサ球菌	(2)	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	<i>Haemophilus influenzae</i> (1)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	
基幹定点	サルモネラ症	1	<i>Salmonella</i> Singapore (1)	
分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	レジオネラ症	4	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1) レジオネラ属菌 培養陰性 (3)
	レプトスピラ症	3	血液2 尿1	レプトスピラ遺伝子 陰性 (3)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	A群溶血性レンサ球菌 T4 (1) A群溶血性レンサ球菌 TB3264 (1) A群溶血性レンサ球菌 T型別不能 (2)
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	2	百日咳菌遺伝子 陰性 肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性 溶血性レンサ球菌 培養 陰性 百日咳菌培養 陰性 (2)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】